

8-11					
主題		本気の避難訓練			
副題		犠牲者ゼロを目指した垂直避難誘導			
キーワード 1	階段避難誘導	キーワード 2	30 名避難	研究(実践)期間	2 ヶ月

法人名	社福) 奉優会	事業所名	特別養護老人ホーム等ワカの家
発表者(職種)	多和田真吾(介護支援専門員)		
共同研究(実践)者	なし		

電話	03-5752-0030	FAX	03-5752-0029
----	--------------	-----	--------------

事業所紹介	<p>等ワカの家は平成 13 年 4 月に開設した施設である。奉優会で最初にできた従来型特養で、特別養護老人ホーム、ショートステイのほかにデイサービス、居宅介護支援を併設している。駒沢オリンピック公園や等ワカ溪谷が近くにあり、四季のうつりかわりの感じられる閑静な住宅街の中にある。</p>
-------	--

<p>《1. 研究(実践)前の状況と課題》</p> <p>近年、自然災害によって高齢者施設における甚大な被害が相次いでいる。高齢者施設は必ずしも安全な場所に立地しているわけではなく、これまでも豪雨に見舞われ避難が間に合わずに入居者が犠牲となるケースは繰り返されてきた。緊急時に歩行や座位ができない介護度の高い入居者に対する具体的な避難方法は示されておらず、災害時の具体的な避難方法を検討することは急務だと考える。</p> <p>《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》</p> <p>本研究は、災害時に高齢者施設において自力避難が困難な入居者に対し、担架を用いた避難方法や歩行避難により、階下へ垂直避難させることを想定し「本気の避難訓練」と称し実施。避難計画や事業継続計画に(BCP)どのような見直しが必要かを検証することを本研究の目的とし、次の2点を仮説とした。</p> <p>1、ワンフロアの階段避難を行うことで、一人の避難にかかる支援者数と時間を定める。 2、大規模な避難訓練を実施することで地域住民や関係者との連携体制を構築できる。</p> <p>《3. 具体的な取り組みの内容》</p> <p>①ワンフロア入居者(30名)階段による垂直避難訓練の実施 推定災害:火災 午前10時、2階談話室テレビコンセントよりトラッキング発火。2階入居者30名を1階駐車場まで避難誘導実施。 1、避難訓練予行練習 2、担架の購入 3、ご家族様への説明 4、訓練参加スタッフ26人 5、階段3か所に分けて垂直避難誘導 6、垂直避難訓練のデータ分析(時間 人数)</p>
--

## ② 地域と一体的な避難訓練の実施、災害へのボランティア支援への繋がり

- 1、地域環境分析
- 2、町会（等々力三和会）の参加
- 3、東京理科大学へのデータ収集依頼
- 4、避難訓練使用物品/機材（防災用ヘルメット 20 個 担架 4 台 名札 30 個  
防災用ベスト 26 着 撮影用カメラ 6 台 ストップウォッチ 5 個）
- 5、能登半島地震への介護職員派遣へのつながり

### 《4. 取り組みの結果》

#### ①ワンフロア入居者（30 名）階段による垂直避難訓練の実施

車椅子入居者 21 名を担架にて階段垂直避難、歩行入居者 6 名を職員付き添いにて階段垂直避難。寝たきり入居者 3 名をベッドごと水平避難。担架避難には職員 2 名（車椅子操作、運び）職員 4 名（担架移動）計 6 人にて実施。歩行避難には職員 1 名にて実施。階段垂直避難にかかる時間 1 分 21 秒（車椅子と担架の水平移乗平均 43.5 秒、階段垂直避難平均 37.5 秒）2 階居室から 1 階避難場所までにかかる時間（水平避難誘導含む）2 分 45 秒/人

#### ②地域と一体的な避難訓練の実施、災害へのボランティア支援への繋がり

等々力の家半径 1 キロ以内に玉川消防署、町会（等々力三和会）高齢者福祉施設 3 施設あり。避難訓練は町会（等々力三和会）6 名参加。東京理科大学より 7 名参加。災害派遣チームの結成（精鋭部隊 6 名 能登半島地震への派遣実績あり）

### 《5. 考察、まとめ》

災害時にエレベーターを使用できないと想定し、階段避難には大きな労力と多くの時間を要した。階段避難の優先順位は「独歩→護送→担送」最後にスタッフとなる。今後の避難訓練についても職員のみで実施するのではなく、地域住民や近隣高齢者施設の協力を得て実施し、訓練で得られる教訓を避難計画や事業継続計画書（BCP）等の見直しに繋げ、実効性のある計画にすることが重要であることが分かった。

### 《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人（ご家族）に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

### 《7. 参考文献》

高齢者施設・事業所における避難の実効性を高めるために 一非常災害対策計画作成・見直し  
[saigai\\_tebiki.pdf](#)

### 《8. 提案と発信》

災害時における高齢者施設の避難の実効性を高める為には、自施設の環境に合わせたより具体的な避難方法を示していくことが必要と考える。そうすることで課題が浮き彫りとなり防災機器技術の発展や地域の防災力向上となる。